

このたびの西日本豪雨で被害にあわれた皆さんに心よりお見舞い申しあげます。

おかやまコープ

くらし豊かに  
なかまとともに

くらしとなかま  
VOL. 526 2018年8月 特別号

ご自由に  
お取り下さい

## 西日本豪雨 がんばろう岡山!!



6月28日から7月にかけ、台風7号及び前線等の影響により、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨が降りました。岡山県では6日夜に大雨特別警報が発令され、19の市町村で、7月6日から7日の48時間で観測史上第1位となる降水量を記録し、避難指示や避難勧告が出されました。

各地で河川の氾濫、浸水被害、土砂災害等が発生。未曾有の被害をもたらしました。

△小田川の決壊により浸水した倉敷市真備町(7月8日)

### 〈西日本豪雨緊急支援募金〉 あたたかい支援の気持ちが寄せられています

コープ倉敷北・コープ北畠で募金を呼びかけました。(7月14日・7月16日)  
「私たちも何かしなくては、という思いで募金を呼びかけています(募金活動をした倉敷エリアの組合員)」



「困っている  
ときは  
おたがいさま」

「現地に行くことができないので、少しでも  
お役に立てれば」



※募金期間を8月31日(金)まで延長します。詳しくは裏表紙をご覧ください→

くらしとなかま 2018年 8月 特別号 第526号 発行日 / 2018年8月13日 発行 / おかやまコープ 理事長 平田昌三 編集 / 機関運営・広報室 TEL 086-256-2511(代) FAX 086-256-0026 岡山市北区奉還町二丁目七一七

宅配

《個配手数料「特別割引」》



このたびの災害で、被災された方(床上浸水以上・土砂災害など)、り災証明書をお持ちの方、もしくは対象となる方。岡山県内の、ご自宅あるいは避難先・引越先でご利用いただけます。  
個配手数料を半年間無料といたします。

詳しくは問合せセンター

フリーダイヤル 0120-662-538  
(月~金曜8:30~21:00、土曜8:30~18:00)



被災された  
みなさんを  
みずつと  
応援します

### お問い合わせ窓口

●《たすけあい》《あいぶらす》《ずっとあい医療》  
《ずっとあい生命》《新あいあい》  
コープ共済センター

フリーダイヤル 0120-752-557  
(月~土曜9:00~18:00)



共済 《CO・OP共済ご加入者》

このたびの災害によりおケガをされ、入院・通院をされた場合、また住宅や家財に被害があった場合、損害の程度により、共済金・お見舞金がございます。右記までご連絡ください。(契約内容によっては保障がない場合もあります)

1口200円からできます。  
「5」と記入されると1,000円になります。



### 「西日本豪雨緊急支援募金」にご協力ください

支援を継続して行うため、募金の期間を延長しました。引き続きご協力をお願いいたします。お寄せいただいた募金は、日本生協連を通じて義援金、支援金として被災者や被災地の支援に役立てられます。

#### 《期間と方法》

【宅配】9月1回まで(～8/31(金)提出)のOCR(商品注文書)の6ヶタ記入欄に「注文番号 001523」・「数量」をご記入ください。※おふれんずでも募金できます。

【店舗】8月31日(金)まで店内に募金箱を設置しています。



全国の生協から  
多くの支援が

鳥取県生協、生協しまね、コープCSネットから総勢29人の職員が来岡し、倉敷市真備町での支援活動に参加してくださいました。



応援メッセージ  
お寄せください

[ハガキで]

〒700-0026  
岡山市北区奉還町1丁目7-7  
おかやまコープ「くらしとなかま」係

[FAXで] 086-256-2588

[e-mailで]

nakama@okayama.coop

●掲載の場合、内容が変わらない範囲で文章を変更することができます。  
●ご記入いただいた個人情報は「くらしとなかま」の制作及び被災地への応援メッセージに使わせていただきます。

おかやまコープはこれからも、被災された方に寄り添い、さまざまな支援を行っていきます。今後も、一日も早い復旧に向けて力を尽くします。

# 西日本豪雨 がんばろう岡山!!

尊い人命が犠牲となり、多くの人々からふだんのくらしを奪った西日本豪雨。

おかやまコープでは、被災された方々や地域を支えるため、発災直後から支援活動に取り組んでいます。県内のみならず全国の生協からも、支援の手や応援の声が寄せられています。

## 何とかして事業継続を

おかやまコープでは、7月7日(土)朝に災害対策本部を立ち上げ、被災状況の確認や、支援物資の手配などをいち早く行いました。

宅配センターでは、組合員さんの安否を確認する電話掛けや事前に道路状況を確認して何とかお届けできるルートを探して配達を行いました。



▲道路が陥没するなど交通網が寸断(総社市7月7日)

店舗では、避難指示が発令されている中で必要な人員が確保できませんでしたが、出勤可能なメンバーで対応しました。一部店舗で開店時間を遅らせたり、閉店時間を早めたりしました。

福祉事業では、安全を最優先して7日のみデイサービスを休業しました。

## 商品が無い状況に

道路封鎖や鉄道の運休、被災地へ優先的に物資を供給するといった事情により欠品が相次ぎ、宅配では発災後の一週間で10万点がお届けできなくなりました。夕食宅配弁当「たべてん便」では原料が確保できず、7月9日の配達をやむなく休止しました。

また、中国地方のお取引先メーカーへ生産者も被災され、一部商品の出荷ができなくなりました。



▲店舗ではパンや乳製品などが欠品(7月9日)

被災の大きかった地域では、安全に配慮しながら、注文された商品を配送トラックに積み、組合員さんのお宅を訪問しました。倉敷市真備町を担当しているのは玉島センター。地域担当の篠浦さんは「組合員さんはどうされているだろうと心配でたまらなかった」と話します。

### 玉島センター 地域担当 篠浦 裕一さん

じゅういちさん



水害の翌週、真備町に入つて組合員さんのお宅を訪ねました。特に被害が大きい地区には近寄ることもできませんでしたが、お会いできた方からは「こんな中よく来てくれたなあ」と感謝されました。



### 玉島センター長 堀本 佳彦さん

しげひこさん

今はまだ生活が大変で、お役に立てるとは少ないかもしれません。が、いつか何かでお役に立てるよう、つながりを大切にしていきます。



▲真備町を走る生協トラック



## 物的支援



県内の全自治体(玉野市は三井造船生協)と締結している災害物資協定に基づき、発災直後から、7市町(美咲町・新見市・倉敷市・津山市・総社市・矢掛町・岡山市)に12回にわたって支援物資をお届けしました。水、パン、カップ麺、トイレットペーパーなど、約5万点をお届けして喜ばれました。

総社市・岡山市のボランティアセンターへ

水一万2千本、倉敷市真備町の3幼稚園に

コープのお菓子を無償提供しました。

7月17日からは、酷暑をしのぐための「氷」30kgを月曜から金曜まで毎日、倉敷市真備町・岡山市東区のボランティアセンターに届けています。

おかやまコープが協定を結ぶ国際医療ボランティア団体AMDAの要請を受け、支援金30万円を拠出するとともに、スポーツドリンク100本と塩タブレット50袋を提供しました。

7月17日からは、酷暑をしのぐための「氷」30kgを月曜から金曜まで毎日、倉敷市真備町・岡山市東区のボランティアセンターに届けています。

おかやまコープが協定を結ぶ国際医療ボランティア団体AMDAの要請を受け、支援金30万円を拠出するとともに、スポーツドリンク100本と塩タブレット50袋を提供しました。

## 人的支援



▲真備町ボランティアセンター「サテライト箭田(やた)」の運営支援スタッフ



多くのボランティアの手が必要とされる中、職員が被災地支援活動に参加しています。

また、7月17日～19日には矢掛町・笠岡市・井原市・新見市・高梁市を訪問してニーズを聞き取り、平日ボランティアの派遣を行いました。



▲小林嘉文 笠岡市長(左端)から被災状況の説明を受ける平田昌三理事長(7月17日)

## 安心して活動できました

7月6日の夜2,000名が避難しており、食料が確保できず困っていたところ、道路の通行止めが多い中、おかやまコープさんがトラック4台でパンと飲料を大量に運んできてくれました。本当に助かりました。

安心してお任せでき、活動がスムーズになりました。ありがとうございました。



▲AMDAによる支援(7月21日 まび記念病院)



AMDA GPSP推進戦略局担当部長兼国内災害派遣調整官 岩尾智子さん

## 配送担当者の思い

被災の大きかった地域では、安全に配慮しながら、注文された商品を配送トラックに積み、組合員さんのお宅を訪問しました。

倉敷市真備町を担当しているのは玉島センター。地域担当の篠浦さんは「組合員さんはどうされているだろうと心配でたまらなかった」と話します。

商品を配送トラックに積み、組合員さんのお宅を訪問しました。倉敷市真備町を担当しているのは玉島センター。地域担当の篠浦さんは「組合員さんはどうされているだろうと心配でたまらなかった」と話します。

### 配送担当者の思い